

対馬・釜山国境観光モニター調査報告（2015年3月14-16日実施）

九州大学持続可能な社会のための決断科学センター講師

花松 泰倫

1. 趣旨・目的

国境地域を陸路や海路で渡る「国境観光（ボーダーツーリズム）」が近年、世界的に注目を集めている。現在、領域を海に囲まれ、陸路の国境線を持たない我が国においても、隣接国からの外国人観光客による国境観光は以前からあった。特に、日本の境界地域のなかで唯一、領海とEEZ等の海の境界線が確定している対馬・釜山間では、近年、釜山から対馬へ渡る韓国人観光客が激増し、去年は年間19万人に上った。

他方で、日本人観光客が我が国の領域から隣接国へ「国境観光」を行うケースは、これまでほとんど報告されていない。そこで、我が国の国境地域における日本人による国境観光の可能性を調査するため、福岡から対馬を縦断し釜山に渡る「国境観光モニターツアー」を実施した。2013年12月に行ったモニターツアーに続き、今回が2度目となる。国内旅行と海外旅行を組み合わせた新たな旅行形態としての「国境観光」を実際に体験してもらい、参加者がどのように感じたかをアンケート調査を通じて調査することが目的である。

2. 日程・行程等について

実施日時：2015年3月14日（土）から16日の2泊3日

行程：福岡空港発、対馬、釜山を訪問し、博多港解散

参加者数：27名、うち一般参加者23名

ツアー価格：60,000円（一人部屋利用の場合は4,000円追加）

実施：近畿日本ツーリスト九州福岡支店

企画：NPO法人国境地域研究センター、境界地域研究ネットワーク JAPAN (JIBSN)

協力：ANA、JR九州高速船、対馬市、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター境界研究ユニット (UBRJ)、九州大学アジア太平洋未来研究センター (CAFS)、九州大学持続可能な社会のための決断科学センター

3. 今回のモニターツアーの狙い

前回のモニターツアー（2013年12月実施）においても、国内旅行と海外旅行を組み合わせた国境観光ツアーそのものへの満足度が高く、ある程度リピーターも見込める団体旅行商品となる可能性が明らかになった一方で、1泊2日のなかで一日目のう

ちに釜山へ渡る強行スケジュールだったため、もう少しゆっくり対馬を観光したかったという意見が多かった。また、昼食や土産物といった受入体制での問題点も指摘された。さらに、今回は若い女性をターゲットに企画が考案されたが、実際に参加した人の多くが年配の女性や男性グループであり、いかに適切なターゲット、客層を措定するかが重要であるという結論が得られていた。

従って、今回のモニターツアーでは前回の反省点を踏まえ、以下の点にとくに注意しながら企画を行った。

- (1) 対馬を訪れる一般的な客層である年配の女性（60代前後）を対象に、国境をじっくり感じてもらうこと
- (2) 平日を含む2泊3日で実施
- (3) 価格の安さは追求しない
- (4) 明確なテーマはあえて設けない代わりに、新しい試みとして、一般的な対馬と釜山の観光メニューに体験型プログラムを織り交ぜる
- (5) 食事や土産には最大限配慮する
- (6) 駆け足で見るような形ではなく、余裕を持った時間配分を心懸ける

対馬から釜山へ！国境観光モニター・ツアー

国境地域研究センターは、九州大学および北海道大学と共同で、世界の国境地域で近年注目されている「国境観光（ボーダー・ツーリズム）」の研究を行っています。今回、日本で最初の「国境観光」モデル作りを目的として、福岡から対馬を通って釜山に渡る「国境観光モニター・ツアー」を実施いたします。国内旅行と海外旅行を組み合わせた新たな旅行形態としての「国境観光」を体験してもらうとともに、国境を挟んだ対馬・釜山の歴史と文化、自然の魅力を感じていただきたいと思います。

旅行期日 : 平成27年**3月14日(土)~3月16日(月)**

集合・解散 : **集合:福岡空港国内線第1ターミナル 解散:博多港国際ターミナル**

募集人数 : **30名様** (最少催行人員 18 名様)

旅行代金 : **60,000円** (個人的な経費を除く、全て) ※一人部屋利用の場合は 4,000 円追加

	月日	発着地/滞在地	時間	交通機関名	スケジュール	食事
①	3月14日 (土)	福岡空港 発 対馬空港 着 対馬-比田勝 着	07:50 08:25 夕方	ANA-4931 便 専用バス	集合の後、空路、対馬やまねこ空港へ到着後、浅茅湾クルーズの後、厳原で万松院、歴史民俗資料館を見学。「肴やえん」で昼食後、万関橋を渡って上対馬へ。和多都美神社を参詣、烏帽子岳展望台を散策後、比田勝で「対馬パール」のアクセサリ作りを体験。懇親夕食会 ＜比田勝泊＞	昼-レストラン 夕-レストラン
②	3月15日 (日)	対馬-比田勝 発 釜山 着	午前 13:00 14:10	専用バス ビートル549 便 専用バス テキスト	殿崎の白露戦記念碑と韓国展望台を見学後、佐須奈にある野生生物保護センターを見学、「ももたろう」で昼食の後、比田勝港へ出国手続きを経て、高速船で釜山へ到着、入国手続きの後、ホテルへ夕食まで自由行動 ＜釜山市内泊＞	朝-ホテル 昼-レストラン 夕-レストラン
③	3月16日 (月)	釜山 発 博多港 着	午前 15:30 18:25	専用バス ビートル258 便	草梁倭館跡の龍頭山公園と南浦洞を見学。時間があれば釜山近代歴史館と国際市場へ出国手続きの後、高速船で博多港へ到着、帰国手続きの後、無事解散	朝-ホテル 昼-レストラン

※ 天候等の都合により、企画内容が変更になる場合があります

＜宿泊予定先＞ 対馬(比田勝)—— 花海荘または梅屋ホテル、釜山—— 東横INN中央洞

企画：NPO 法人 国境地域研究センター

企画共催：境界地域研究ネットワーク JAPAN



旅行実施：(株)近畿日本ツーリスト九州 福岡支店

近畿日本ツーリスト
株式会社近畿日本ツーリスト九州

協力：ANA、JR 九州高速船、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター境界研究ユニット (UBRJ)、九州大学アジア太平洋未来研究センター (CAFS)、九州大学持続可能な社会のための決断科学センター



対馬から釜山へ！国境観光モニター・ツアー 募集要項・旅行条件書

■旅行代金 (福岡空港発、博多港着)
おとなお一人 60,000円
*上記旅行代金の一部は企画及び企画共催社が負担していただいております。

■募集人員 30名様(最少催行人員：18名様)

■申込締切日 2015年2月20日(金)
(ただし定員になり次第締め切ります。)

■旅行代金に含まれるもの

- (1)航空運賃：日程表に記載された船舶・航空運賃
- (2)宿泊代金：2名一室利用
- (3)食事代金：記載された食事(朝2回、昼3回、夕2回)
- (4)バス料金：専用バス利用料金
- (5)団体行動中の税金・チップ等
- (6)手荷物運搬料金(規定範囲内)
- (7)港湾施設使用料及びターミナル施設使用料、燃料高騰付加運賃など 合計 3,400円
- (8)添乗員同行経費
上記費用はおお客様の都合により一部利用されなくても払い戻しは致しません。

■旅行代金に含まれないもの

※上記以外は旅行代金に含まれませんが、参加に当たって通常必要となる費用を例示します。

- (1)旅券取得に関する収入印紙代及び都道府県収入証紙代
(5年有効旅券¥6,000~11,000、10年有効旅券¥16,000)
- (2)個人的性格の費用：日程表に明示されていない飲物代、クリーニング代、電話代等
- (3)手荷物超過料金
- (4)傷害、疾病に関する医療費
- (5)任意の海外旅行傷害保険料

■追加旅行代金

- (1)渡航手続き料金
この旅行には有効な旅券が必要ですが、当社でそれら手続きを代行する場合の料金は下記の通りです。旅行をお申込み後に申込書をご送付いたしますので、代行を希望される場合はお申し出下さい。
①旅券の申請書の作成代行…………… ¥5,400
②韓国入国書類の作成代…………… ¥4,320
各料金に対して消費税(8%)が含まれております。
- (2)一人部屋追加料金(¥4,000)

■お申込方法

参加申込書に必要事項をご記入の上、パスポートのコピーと共に弊社へご送付下さい。また同時に申込金(12,000円以上で旅行代金まで)をお振込み下さい。なお、旅行代金の他に、海外旅行傷害保険料などの残金は平成27年3月4日までに指定口座にお振り込み下さい。また請求書の必要な方は弊社担当者へご連絡下さい。

■アンケートのご記入をお願いいたします！

旅行中に企画者からのアンケートのご記入をお願いしておりますので、ご協力ください！

■募集型企画旅行契約

本旅行は株式会社近畿日本ツーリスト九州が企画・募集・実施するもので、参加される方は当社と募集型企画旅行契約を結んで戴きます。契約は当社の承諾と申込金の受理を持って成立するものとし成立日は当社が申込金を受理した日とします。

■取消料

お申込後お客様の都合で参加を取消される場合、次の取消料をお支払いいただきます。(ピーク時期の適用となります)

1. 旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日前から31日前までの取消…………… 旅行代金の10%
2. 旅行開始日の30日前から3日前までの取消…………… 旅行代金の20%
2. 旅行開始日の3日目を降旅行開始日当日まで…………… 旅行代金の50%
3. 旅行開始後の解除および無連絡不参加…………… 旅行代金全額

■確定日程表

確定した航空機の便名や宿泊ホテル名が記載された確定日程表は、平成27年3月3日までに交付します。ただし、出発の7日前以降にお申込みの場合は旅行開始日当日に交付することがあります。なお、交付日以前であってもお問合せいただければ手配状況についてご説明いたします。

■海外旅行保険加入のお勧め

ご旅行をより安心できるものとするため、お客様ご自身で十分な旅行保険(疾病・傷害・盗難等)に加入されることをお勧めいたします。

旅行のお申込み先

観光庁長官登録旅行業第1886号 日本旅行業協会会員
株式会社近畿日本ツーリスト九州 福岡支店
〒812-0024 福岡市博多区綱場町2-21福岡 MDビル8階
TEL 092-272-4891 FAX 092-272-4901
Email : nita88888@gmail.com
担当：二田(にた)
総合旅行業務取扱管理者：二田 茂行
営業日・営業時間：平日9:00~17:45、土曜・日曜休業
ポンド協会会員、旅行業公正取引協議会会員

※総合旅行業務取扱管理者とは、当支店での取引の責任者です。この旅行の契約に関し担当者からの説明にご不明な点がございましたら上記総合旅行業務管理者にご質問下さい。

※お客様からご提出戴いた、参加者の個人情報については、参加者との連絡や運送・宿泊を含む関係機関の手配の為に利用させて頂く他に、必要な範囲内において当該機関に提供させていただきます。また、弊社のグループ企業である株式会社KNTツーリスト等の販売店が取り扱う商品・サービスに関する情報を提供させて頂くことがあります。

※旅券の有効期間/旅行出発日より3カ月以上の残存が必要

〈その他のご旅行条件〉〈お申込を戴く前に、この条件書を必ずお読みください〉

旅行契約内容・代金の変更/天変地異、戦乱、暴動、運送・宿泊機関のサービス提供の中止、官公署の命令、当初の運行計画によらないサービスの提供その他の当社の管理できない事由が生じた場合、契約内容を変更することがあります。またその変更に伴い旅行代金を変更することがあります。著しい経済情勢の変動により通常予想される程度を大幅に超えて利用する運送機関の運賃・料金の改訂があった場合は旅行代金を変更することがあります。増額の場合は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって15日目に当たる日より前にお知らせします。なお、本旅行代金は平成27年1月26日現在の運賃・料金を基準としております。②標記の最少催行人員に満たない場合は旅行を中止することがあります。この場合旅行開始日の前日から起算してさかのぼって23日目に当たる日より前に通知します。③取消料/当社の責任の取らないローン、渡航手続き等の事由によるお取消の場合も取消料をいただきます。ただし、次の場合は取消料をいただきません。旅行契約内容に次のような変更またはその他の重要な変更が行われた時。(1)旅行開始日または終了日の変更(2)入場観光地・施設・その他の目的地の変更(3)運送機関の設備・等級のより低いものへの変更(4)運送機関の種類または会社の変更(5)宿泊施設の変更(6)宿泊機関の客室の種類・設備・景観の変更。運賃・料金の変更により旅行代金が増額された場合。当社が標記の日までに確定日程表を交付しない場合。当社の責に帰すべき事由により当初の日程通りの実施が不可能となったとき。④当社による契約解除/旅行代金を期日までに支払いいただけない時、申込条件の不適合、病気・団体行動への支障その他により旅行の円滑な実施が不可能な時は、当社は契約を解除することがあります。⑤当社の責任/当社または当社の手配代行者がお客様に損害を与えた時は、損害を賠償いたします。(お荷物に関する賠償限度額は1人15万円)⑥特別補償/当社はお客様が旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により生命、身体、手荷物に被った一定の障害について一定の補償金および見舞金を支払います。⑦旅程保証/旅行日程に前記取消料の項目に掲げる重要な変更が行われた場合は約款の規定により(1)は旅行代金の3%(2)から(6)は2%、また各号がツアータイトルに掲げられている場合は5%に相当する額(ただし旅行開始前に変更が行われた場合はそれぞれ半額)の変更補償金を支払います。サービス提供の日時およびサービス提供の順序は対象外とし、一旅行契約について支払われる変更補償金の額は旅行代金の15%を限度とします。また一旅行契約についての変更補償金の額が千円未満の場合は、変更補償金は支払いません。また、当社は変更補償金の支払いを物品・サービスの提供で代替することがあります。⑧お客様の責任/当社はお客様の故意または過失により当社が損害を被った時はお客様から損害の賠償を申し受けます。⑨このパンフレットは旅行業法12条4および5にいう説明書、契約書の一部になります。⑩ここに記載のない事項については当社募集型企画旅行約款によります。⑪当社はいかなる場合も旅行の再実施はいたしません。

パンフレット作成日：平成27年1月26日

4. 行程

第1日目 (2015年3月14日土曜日)

- ① 対馬空港着 (8:25着)
- ② 浅茅湾クルーズ (9:00-10:30)
- ③ 万松院、歴史民俗資料館 (11:00-12:00)
(昼食)
- ④ 和多都美神社、烏帽子岳展望台 (14:00-15:00)
- ⑤ 対馬パール・真珠アクセサリー作り (16:30-18:00)
(夕食・宿泊)

第2日目 (2015年3月15日日曜日)

- ① 殿崎・日露戦争慰霊碑 (8:30-9:00)
- ② 韓国展望所 (9:00-9:30)
- ③ 環境省対馬野生生物保護センター (10:00-10:30)
(昼食)
- ④ 比田勝港出国 (13:00)
- ⑤ 釜山港入国 (14:00)
- ⑥ 釜山近代歴史館 (14:30-15:30)
- ⑦ 朝鮮通信使歴史館 (16:00-16:30)
- ⑧ 釜山博物館 (16:30-17:30)
(夕食・宿泊)

第3日目 (2015年3月16日月曜日)

- ① 草梁倭館跡、龍頭山公園、釜山タワー (9:00-10:00)
- ② ロッテ免税店@西面 (10:00-11:30)
- ③ 国際市場、チャガルチ市 (11:30-12:30)
(昼食)
- ④ お土産品ショッピング (13:00-15:00)
- ⑤ 釜山港出国 (15:30)
- ⑥ 博多港入国・解散 (18:30)

5. アンケート集計結果

ツアー参加者23名に対して、時間に余裕のあるときに記入いただけるよう以下の3回に分けてアンケート調査を行った。

1回目	配布：福岡空港での出発時（本用紙）	回収：1日目昼食時
2回目	配布：比田勝港で釜山行きの船を待っている間	回収：2日目夕食時
3回目	配布：釜山港で博多行きの船を待っている間	回収：博多港での解散時

参加者に配布したアンケート用紙

対馬・釜山モニターツアー—アンケートご協力をお願い

このたびは、対馬・釜山モニターツアーにご参加いただきありがとうございます。
私たち、国境地域研究センター、九州大学、北海道大学の3研究機関は、日韓の国境に面した対馬と釜山をフィールドにした“国境観光”の可能性について研究しています。今回のモニターツアーを通じて、わが国ではきわめて取組の少ない“国境観光”の実現可能性を明らかにしたいと考えておりますので、楽しいご旅行の最中にご面倒をお掛けしまして恐縮ですが、よろしくご協力くださいますようお願いいたします。

■アンケートの実施について

- アンケートは、時間に余裕のあるときにご協力いただけるよう、3回に分けて実施いたします。
- 主に集合場所での待ち時間や移動の飛行機・船の中でご記入いただくことを想定しています。
- アンケートの配布予定と回収予定は以下のとおりです。

①回目	配布：福岡空港での出発時（本用紙）	回収：1日目昼食時
②回目	配布：比田勝港で釜山行きの船を待っている間	回収：2日目夕食時
③回目	配布：釜山港で博多行きの船を待っている間	回収：博多港での解散時

※ 回収予定はあくまでも目安です。せっかくのご旅行が乗り物酔いで台無しになってしまうわぬよう、無理のない範囲でご記入ください。博多港での解散時までにご記入いただければ結構です。もしも解散時までに関に合わなければ、後日郵送という形で対応させていただきます。

■あなたご自身について教えてください

【お名前】 _____様

【性別】 1. 男性 2. 女性

【年齢】 _____歳

■旅行を始める前のことについて教えてください

問1 今回の旅行の形態として、最も近いものは以下のどれですか？

1. (お子様連れの) 家族旅行
2. 大人の親子旅
3. 夫婦での旅行
4. 友人・恋人との旅行
5. 一人旅
6. その他 (_____)

裏面へ続きます

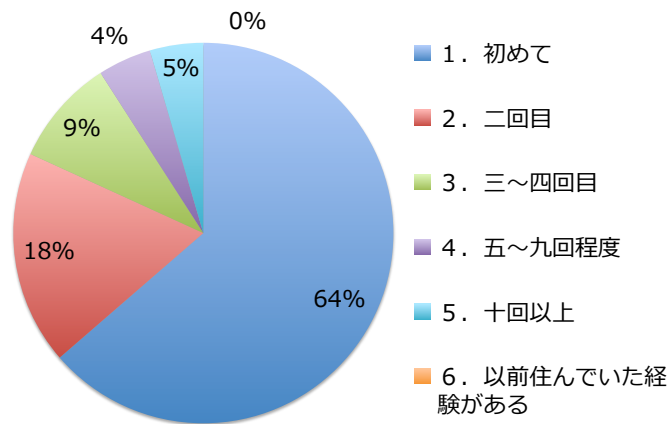
1

(1) 参加者の概要

- 参加者は男性15名、女性8名の計23名、夫婦参加は4組
- 平均年齢は64歳、およそ3分の2以上が60歳以上、最高齢は82歳
- 約半数が福岡居住者、そのほかは熊本、山口、岩手、札幌から参加
- 6割強の方が対馬は初めての訪問で、逆に釜山訪問が初めての方は4割弱。釜山に10回以上行ったことのある方が3名もいた
- 対馬と釜山の両方にすでに1回以上行ったことのある方は6名もいた

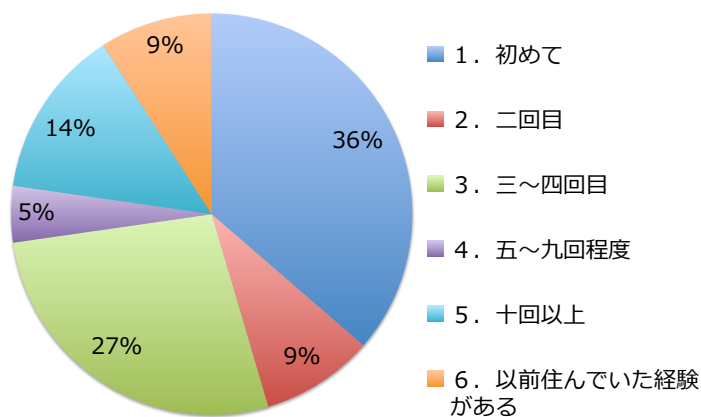
Q: これまでに対馬と釜山を何回ぐらい訪問したことがありますか？

これまでの対馬への訪問回数



N=23

これまでの釜山への訪問回数

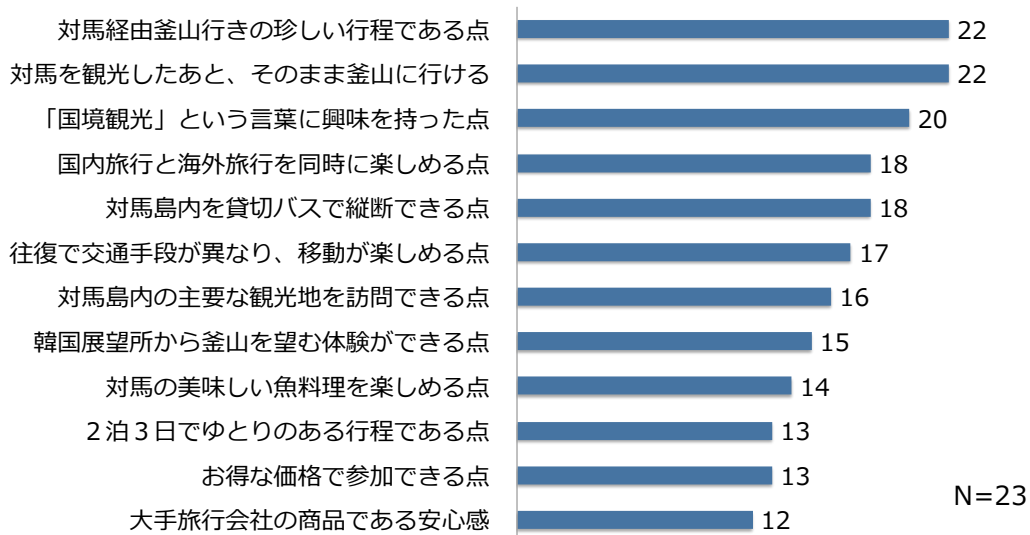


N=23

(2) ツアー申込の決め手

- 多くの方が、申込の検討段階において対馬と釜山を同時に訪れる「国境観光」へ興味を抱いていた

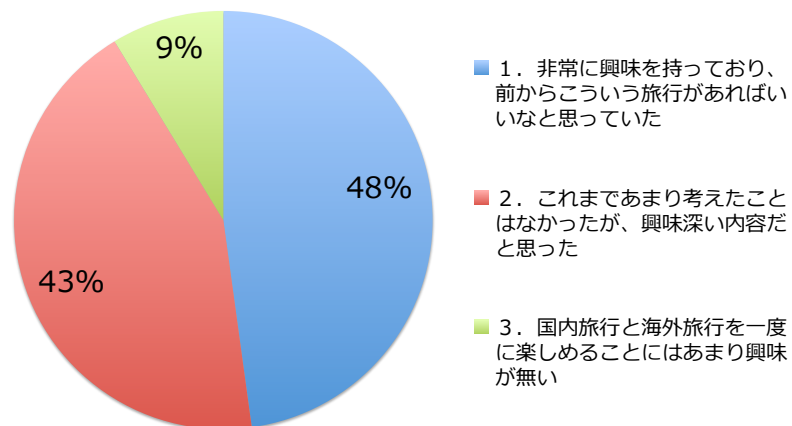
Q: 今回の旅行を申し込む決め手となった点になったのはどのような点でしたか？



(3) 国境観光への関心

- 約半数の方が、国内・海外旅行を一度に楽しめる「国境観光」に前から興味を持っていた
- 合計で約9割の方が、「国境観光」に興味を持って参加いただいた

Q: 国内・海外旅行を一度に楽しめる今回のような旅行には、どの程度興味を持っていますか？

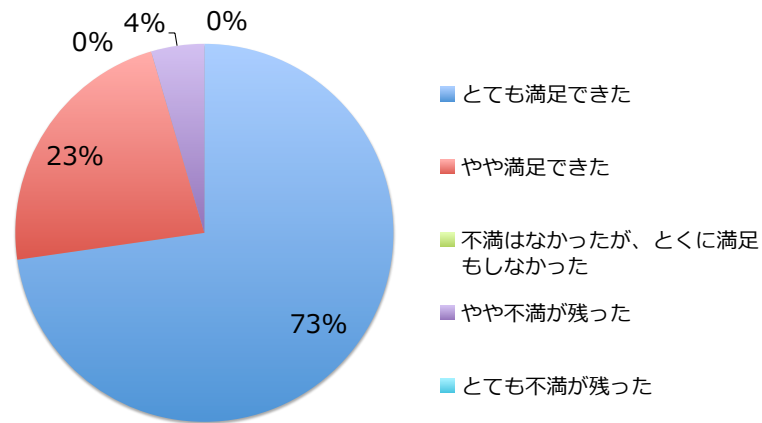


N=23

(4) 対馬観光への満足度

- 7割の方が「とても満足」、2割の方の「やや満足」と合わせて、およそ9割強の方が対馬観光に満足いただいた

Q: 対馬での観光はいかがでしたか？

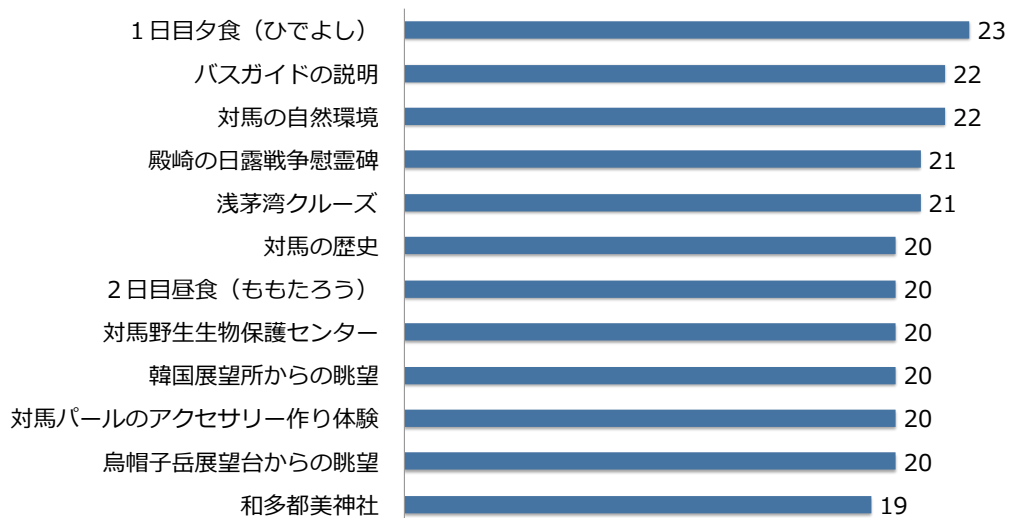


N=23

(5) 対馬観光で印象に残ったもの・満足したこと

- 前回と同じバスガイドさん（藤井さん）は今回は圧倒的な人気を得た。一方で、前回と異なり、食事で高い評価を得た点は注目に値する
- 体験を伴った日露戦争慰霊碑訪問、浅茅湾クルーズ、対馬パールアクセサリーは好評を得た

Q: 対馬での滞在で印象に残ったもの・満足したことは何ですか？

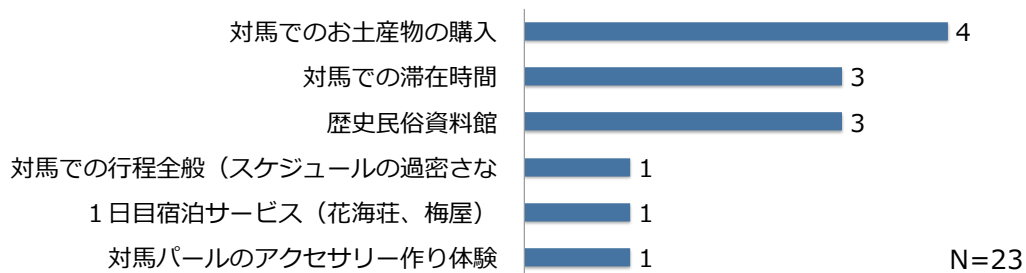


N=23

(6) 対馬観光で物足りなかったこと・残念だったこと

- 前回（2013年12月実施）と同様に、お土産が満足に買えないことへの不満が残った。上対馬で土産物店がほとんどない状況は前回から改善されていない
- 宿泊施設のうちのひとつにお土産コーナーがあり、そこで買い物をされた方も多かったが、別の宿泊施設に泊まった方には十分な買い物時間を確保できなかった
- 万松院や各展望所は坂道や階段が多く、年配の方々には大変だったようだ。年配者をターゲットとする場合、もう少し時間に余裕をもって対馬の観光スポットを回る必要がある
- 歴史民俗資料館は、展示の少なさや写真撮影許可のトラブルが影響したと思われる

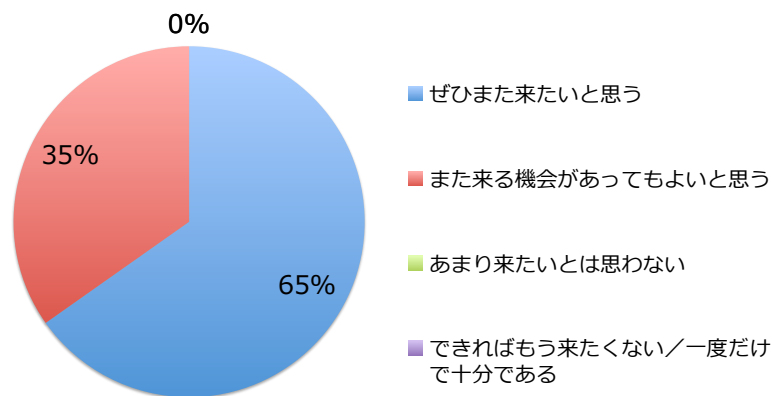
Q: 対馬での滞在で物足りなかったこと・残念だったことは何ですか？



(7) 対馬への再訪の意向

- 65%の方が「ぜひまた来たい」（前回 44.8%）、35%の方が「また来る機会があってもよい」（前回 48.3%）と回答。全員が再訪の意向を示した。
- 「もう来たくない」という方はおられなかった

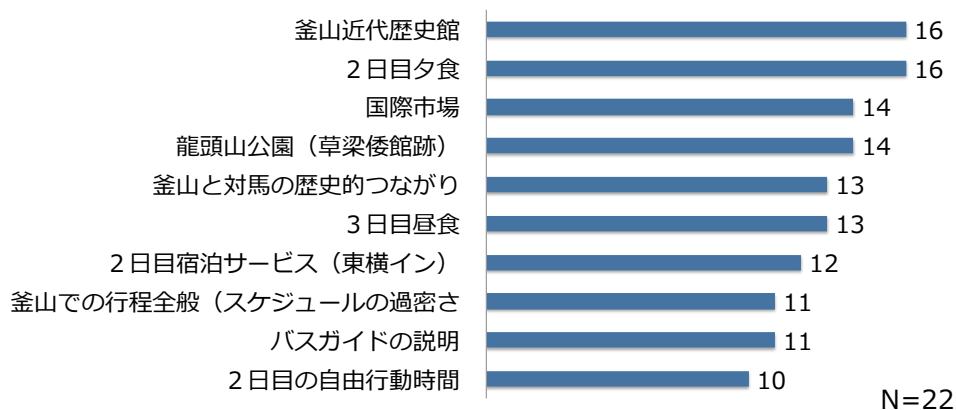
Q: また対馬に来たいと思いませんか？



(8) 釜山観光で印象に残ったもの・満足したこと

- 釜山近代歴史館をはじめ各種博物館・歴史館は好評であったが、駆け足だったため「時間が足りなかった」という意見も多かった
- 草梁倭館跡や朝鮮通信使に関する博物館展示など、「釜山と対馬の歴史的つながり」を感じることができた部分も好評であった

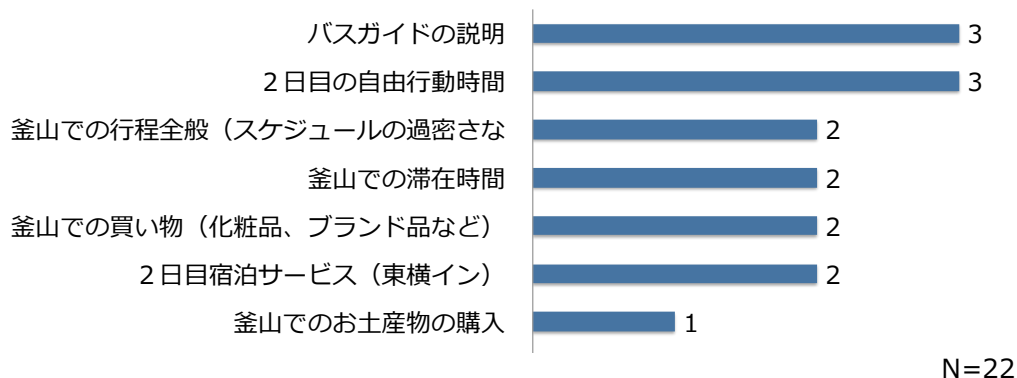
Q: 釜山での滞在で印象に残ったもの・満足したことは何ですか？



(9) 釜山観光で物足りなかったこと・残念だったこと

- バスガイドさんの商業主義的側面 (買い物に行かせたがる等) は不評であった。免税店、土産店に三度も回ったため、「買う気もないのにやり過ぎだ」という不満も。対馬側のバスガイドが好評だったため、落差が激しかった、との声も。
- 企画側のオペレーションミスにより、3日目に訪問予定であった博物館が当日休館日であることが旅行中に発覚し、急遽2日目に変更したため、当初自由時間の予定だった2日目午後を自由に使えなかった点に不満があった

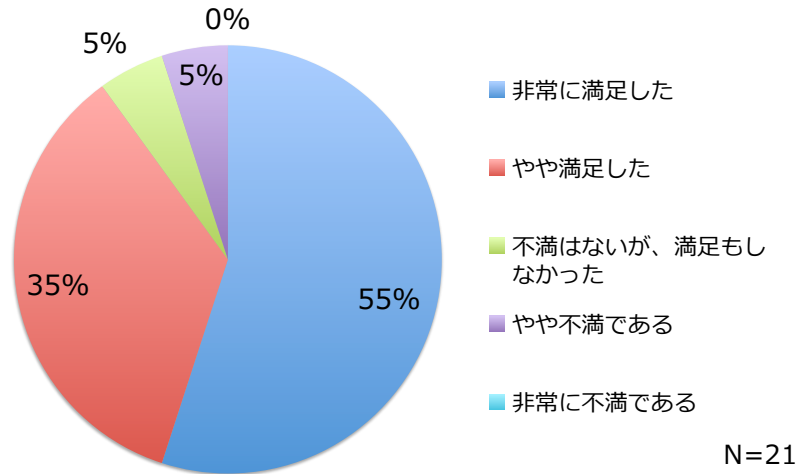
Q: 釜山での滞在で物足りなかったこと・残念だったことは何ですか？



(10) 旅行全体の満足度

- 半数以上が「非常に満足」、合計で9割の方に満足いただいた

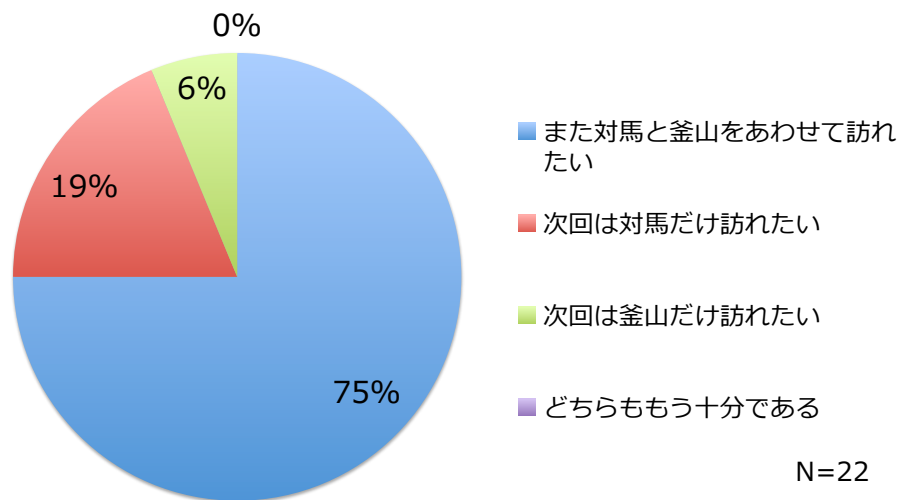
Q: 今回の旅行全体の満足度について教えてください。



(11) 対馬・釜山への再訪の意向

- 75%の方が「また対馬と釜山を合わせて訪れたい」と回答
→ 対馬釜山間の国境観光が旅行商品として成立する可能性を示す
- 前回と異なり、「釜山だけ訪れたい」より「対馬だけ訪れたい」が上回っている

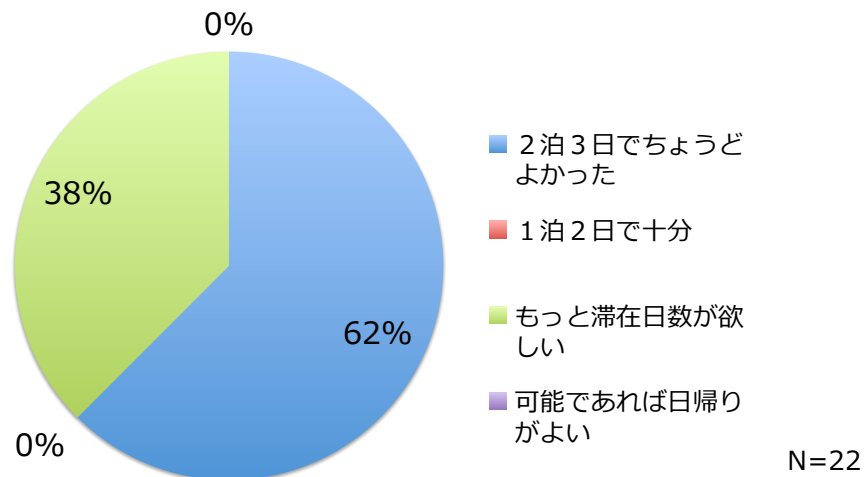
Q: 対馬・釜山両地域を、また改めて訪れたいと思いませんか？



(12) 2泊3日の行程への感想

- およそ6割の方が2泊3日の旅程に満足された
- 4割弱の方が滞在日数の延長を希望
- 少なくとも「2泊3日は長い」という意見は聞かれなかった

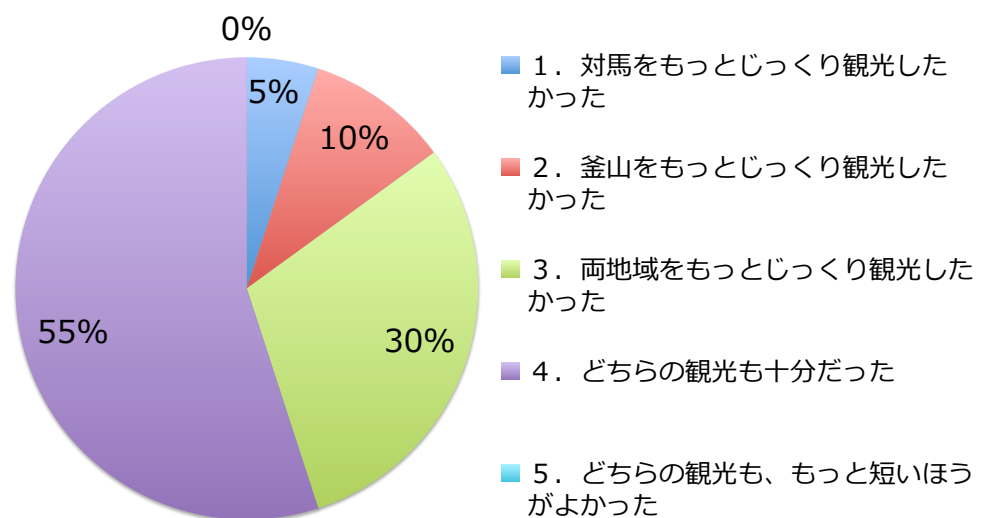
Q: 2泊3日の行程について、どう思われましたか？



(13) 両地域での観光の感想

- 半数以上がどちらの観光も十分だったと回答。また3割の方が「両地域をもっとじっくり観光したかった」と回答。両方を訪れることに意義を感じていることが分かる。

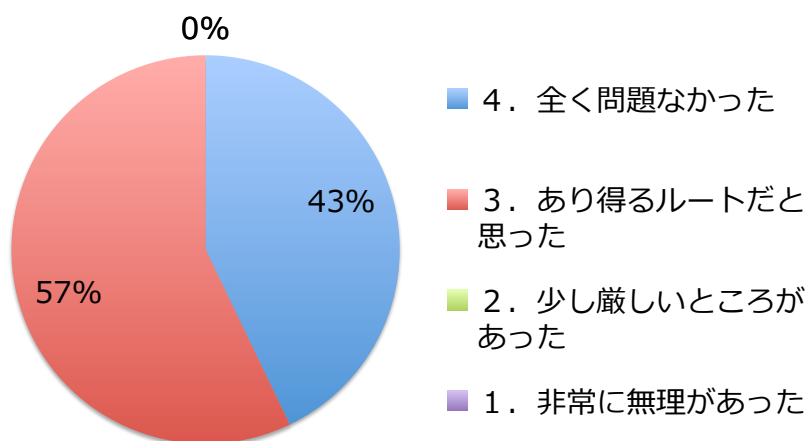
Q: 対馬と釜山の両地域での観光について、どのように感じられましたか？



(14) ルート設定

- 「福岡→対馬→釜山→福岡」というルート設定について、すべての人が好意的な感想を持っていた

Q: 今回の「福岡→対馬→釜山→福岡」というルート設定についてお聞かせください。

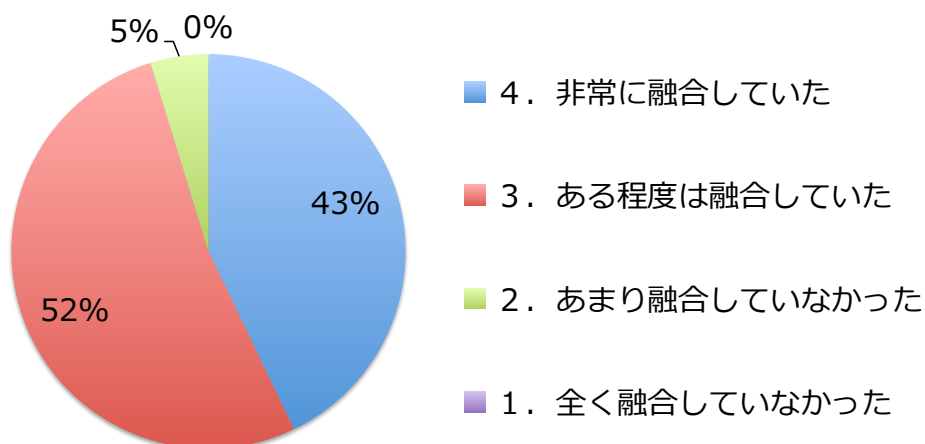


N=22

(15) 両地域での観光内容の融合・整合性

- 対馬と釜山の両地域での観光について、95%の人が「融合していた」と回答。
- 「非常に融合していた」より「ある程度融合していた」の回答が多かった。釜山での買い物の斡旋に対する不満が影響したと思われる。

Q: 今回のツアーで、対馬と釜山での両地域の観光内容は、一つの旅行商品としてうまく融合されていましたか？



N=22

(16) 対馬・釜山の両方を経験済みの方（6名）への質問

Q: 全体の満足度について

4名が「非常に満足」、1名が「やや満足」、1名が「対馬は満足、釜山は不満」と回答

Q: 対馬・釜山の再訪の意向について

5名が「再度対馬と釜山を合わせて訪れたい」、1名が「次回は対馬だけ訪れたい」と回答

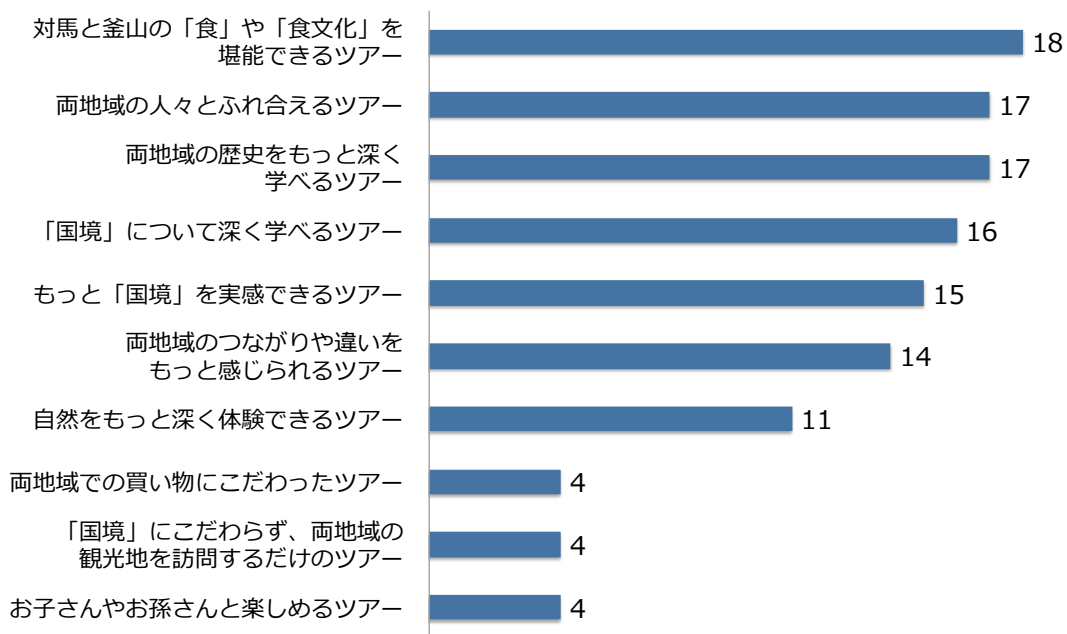
Q: 2泊3日の行程について

5名が「ちょうどよい」、1名が「もっと滞在日数が欲しい」と回答

→ 対馬と釜山に両方行ったことがある方にも満足いただき、かつ「再度両方を合わせて訪れたい」という意向が見られたことで、対馬・釜山のどちらか一方への単純往復とは異なる魅力が国境観光にはある、あるいは商品としてのニーズがあるということが明らかになった

(17) 今後、どのような国境観光商品が望まれるか？

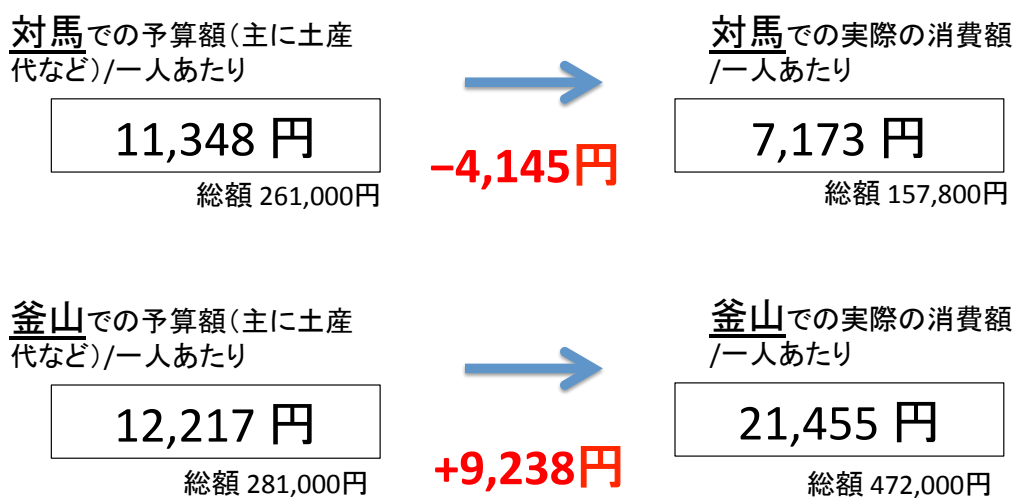
Q: 今回のモニターツアーと同じ「対馬経由釜山行き」の国境観光旅行の商品を今後販売するとした場合、どのような内容のツアーがあれば参加したいと思いますか？



N=22

(18) 予算額と消費額の差異

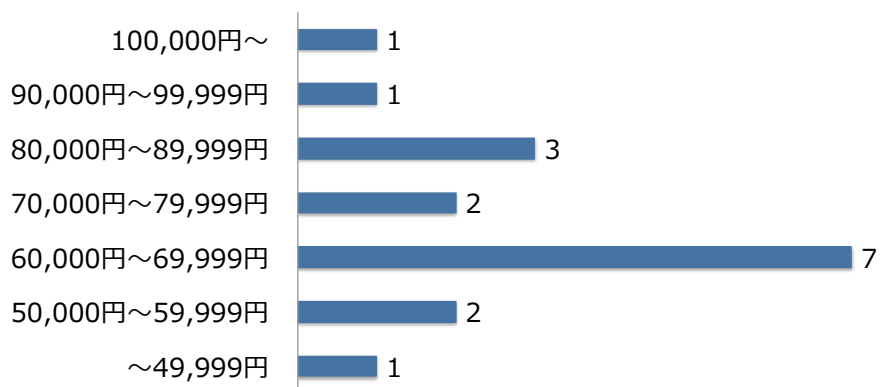
- 対馬では用意されていた予算額より、実際に消費された額が大幅に小さかった。しかし、前回の調査では1人平均5,000円を用意してきたにも関わらず実際に消費した額が平均480円と10分の1以下であったことを考えると、大きく改善している。これは、宿泊施設でのお土産物の購入、夕食後の飲食代が影響したと思われる。ただ、依然として、対馬においては参加者の期待に応えるだけのお土産の品や店の多さを確保できていないことも同時に分かった。
- 一方で、釜山での買い物については、バスガイドによる誘導や回数の多さなどに不満が多かったが、結果的には用意してきた予算額より大幅に大きい消費はなされた。一人当たり、約1万円ほど多い消費がなされた。上記のように、対馬において、予算額をうまく使い切らなかった差額が釜山において消費に使われた可能性がある。また、不満はありながらも、免税店やお土産物での品数は圧倒的に多く、参加者のニーズにうまく合致した可能性も否定できない。



(19) 2泊3日の正規ツアー商品の妥当な価格は？

- 無理な低価格は打ち出さない方針であった一方で、「5万円までが妥当ライン」という代理店側の読みであったが、参加者の大半は今回の6万円でも特別に高いとは感じていないことがわかった。内容への満足度が高かったことも影響していると思われる。
- 内容次第では、さらに高額（かつ日数が長い）の旅行商品へのニーズもあることがわかった。個人ではなかなか経験できない行程であることも関係すると思われる。

Q: 今回のモニターツアーと同じ「対馬経由釜山行き」の2泊3日の旅行商品を正規に販売するとした場合、いくらまでなら売れると思いますか？



N=17

(20) 対馬観光へのコメント

- 好天に恵まれ、対馬愛にあふれるガイドさんが素晴らしかった。コース設定もよかった。
- 対馬の景色、歴史、食事も満足し、韓国と日本（九州）の近さを改めて実感した。
- 本土の観光地に比べ、まだまだ素朴で遅れているようだが、それはひとつのいいところだと思う。でも、もっとお土産品の開発や、歴史や自然の美しさのアピールがほしいです。
- 国と国の間に「境」があるということはわかっていたが、この旅行で再確認できた。
- きれいな海にゴミが溜まっていた。でも韓国の学生さんの応援もあるということで、交流があることはすばらしい。
- 歴史民俗資料館は「あら？たったこれだけ？」という感想だった
- 一日目の夕食は品が多すぎた。品の良いものを少しで良いのでは？

- お土産物屋さんがない
- ガイドさんや居酒屋のマスターなど、地元の人との接点を持つことが出来、対馬への思いを知ることができ、よかった
- 今までの対馬の印象がまったく変わった。
- 階段が多く、年配の参加者が大変だったのではないかと、心配した

(21) 釜山観光へのコメント

- 自由時間であったはずの2日目午後がスケジュール変更で博物館めぐりとなり、3日目がショッピングがメインになったのが残念だった
- 2日目午後の博物館めぐりが、いずれも短時間で残念だった
- 対馬の歴史を理解して釜山に渡るのはとても良かった。両方の添乗員さんがよく勉強され、また慎重にお話しをされていたのが心に残ります
- 釜山のガイドさんはショッピングへの勧誘がひどかった。店に連れて行くことになっているのだろう
- 朝鮮通信使の博物館は初めてで、韓国の人たちがどう捉えてどう伝えようとしているのか感じられて興味深かった
- 朝鮮通信使について日韓両国の視点で見ることが出来、興味深かった。
- 対馬のガイドさん（藤井さん）の熱いガイドを見たばかりだったので、釜山のガイドのりさん（普通だったのだが）が物足りなく思えた。
- 釜山は一泊二日で少し時間が不足したようです。少なくともあと一泊は欲しいです。

(22) 旅行全体に対するコメント

- 一般的な旅行商品にはなかなかないツアーでとても興味深いものでした。対馬側と釜山側の同じ歴史を語るにも、まったく違う見方をされているのがとても印象的でした。
- 国境という観点が欠落していた点に気づかされた
- 稚内サハリン、沖縄台湾の国境観光ツアーに絶対参加します！
- 対馬のお土産や対馬の人とふれ合える機会があればと思いました。韓国釜山はお土産を買う機会が充実していたのに比べて、対馬が気の毒な感じでした
- 食がたいへん美味しかったことは印象的でした
- 日本国内と海外旅行と組み合わせるといのはユニークだと思います
- 短時間で対馬釜山間の国境周辺を盛りだくさんで学べ、非常に面白い企画だと思います。5万～8万/1人の価格帯であれば、家族旅行でも参加したい

- ・ 通常、辺境と考えられている国境の島や都市に焦点を合わせた旅の企画に感心した
- ・ 高齢者としては、もう少しゆとりのある企画にして頂ければ幸いである
- ・ 対馬に関しては対馬の物産品が買えるポイントの必要性。釜山は回る店が多すぎる。店回り希望と自由行動希望に分けたらどうか

(23) 今回のモニターツアーで明らかになった点

- ① 対馬と釜山を同時に訪れる国境観光へのニーズ、団体旅行商品としての可能性は確実にある
- ② リピーターを見込める、また対馬や釜山に行ったことがある方でも満足できる旅行商品になる可能性がある
- ③ 年配の方々には2泊3日か、あるいはそれ以上の日数が望ましい
- ④ 体験型プログラムを織り交ぜることで満足度が向上する可能性がある
- ⑤ 対馬での土産の少なさ、釜山での土産店の多さには今後も工夫が必要
- ⑥ 釜山側の企画にもっと注力すべきである（時間配分、国境観光のツアー趣旨に合ったガイドの選定など）

6. ツアー写真



対馬空港に到着し、バスに乗り込む



浅茅湾クルーズ



対馬歴史民俗資料館を見学



万松院、対馬藩主宗家の墓を見学





昼食（サバ味噌煮定食）



万関橋を全員で渡る



和多都美神社



烏帽子岳展望台



対馬パールアクセサリー作り体験（1）



対馬パールアクセサリー作り体験（2）



懇親夕食会



殿崎・日露戦争慰霊碑で説明を受け、献花





韓国展望所から釜山を望む



対馬野生生物保護センター



昼食後、比田勝港より出国



釜山港に到着



釜山近代歴史館



朝鮮通信使歴史館



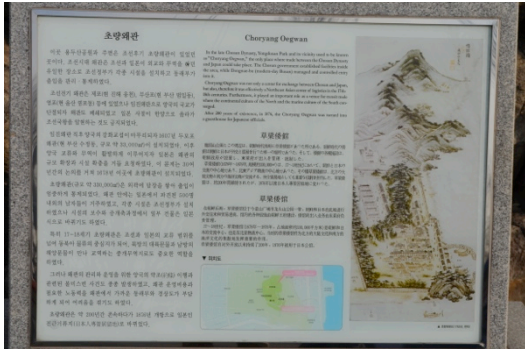
釜山博物館



2日目夕食：コプチャンジョンゴル（韓国風もつ鍋）



3日目昼食：石焼きビビンバとチジミ



草梁倭館跡（龍頭山公園）



釜山タワー



釜山タワーから釜山の街並みを眺める



免税品、お土産品のショッピング（1）





免税品、お土産品のショッピング（2）



国際市場を散策



チャガルチ市場を散策・昼食



無事、博多港に到着

